

「慰めの共同体」

“The Community Sharing Comfort”

2コリントの信徒への手紙

2 Corinthians 1:3~11

「苦難」 「苦しみ」



「キリストの苦しみが満ちあふれてわたしたちにも及んでいるのと同じように…」

(5節)

「わたしは、キリストとその復活の力とを知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の中からの復活に達したいのです。」

(フィリピ3:10)

「あなたがたが召されたのはこのためです。
というのは、キリストもあなたがたのために
苦しみを受け、その足跡に続くようにと、
模範を残されたからです。」

(1ペト2:21)



“affliction” “suffering”



“For just as *the sufferings of Christ are ours in abundance...*”

(v.5)

“that I may know Him and the power of His resurrection and *the fellowship of His sufferings*, being conformed to His death; in order that I may attain to the resurrection from the dead.”

(Philippians 3:10)

“For you have been called for this purpose, since *Christ also suffered for you, leaving you an example for you to follow in His steps,*”

(1 Peter 2:21)



1. 神様は、慰めを豊かにくださる方
であることを思い出せ。

Remember God is the God of all comfort.

「慰め」「慰める」

“comfort”

1. 神様は、慰めを豊かにくださる方
であることを思い出せ。

「神は、あらゆる苦難に際してわたしたち
を慰めてくださるので…」 (4節)

「神は、これほど大きな死の危険からわたしたちを救ってくださったし、また救ってくださることでしょう。これからも救ってくださるにちがいないと、わたしたちは神に希望をかけています。」
(10節)

1. Remember God is *the God of all comfort.*

“God comforts us in all our troubles.”

(v. 4)

“He has delivered us from such a deadly peril, and he will deliver us again. On him we have set our hope that he will continue to deliver us.”

(v. 10)

1. 神様は、慰めを豊かにくださる方 であることを思い出せ。

「それで、イエスは、神の御前において憐れみ深い、忠実な大祭司となって、民の罪を償うために、すべての点で兄弟たちと同じようにならねばならなかったのです。事実、御自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることがおできになるのです。」（ヘブライ2:17-18）

1. 神様は、慰めを豊かにくださる方
であることを思い出せ。

「キリストの**苦しみ**が満ちあふれてわたしたちにも及んでいるのと同じように、わたしたちの受ける**慰め**もキリストによって満ちあふれているからです。」（2コリント1:5）

苦しみの量は、神様の慰めの量に
比例する。

1. Remember God is *the God of all comfort.*

“For this reason he had to be made like them, fully human in every way, in order that he might become a merciful and faithful high priest in service to God, and that he might make atonement for the sins of the people.

¹⁸ ***Because he himself suffered when he was tempted, he is able to help those who are being tempted.*** (Hebrews 2:17-18)

1. Remember God is *the God of all comfort.*

“For just as we share abundantly in the *sufferings* of Christ, so also our *comfort* abounds through Christ.”
(2 Corinthians 1:5)

The quantity of our suffering is
matched by the quantity of
God's Comfort.

2. 苦難は、霊的成熟へ導く。

Suffering leads to spiritual maturity.

「神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。」

(4節)

2. 苦難は、靈的成熟へ導く。

Suffering leads to spiritual maturity.

“God comforts us in all our troubles,
*so that we can comfort those in
any trouble with the comfort we
ourselves receive from God.*”

(v. 4)

2. 苦難は、霊的成熟へ導く。

「わたしたちが**悩み苦しむ**とき、それはあなたがたの**慰めと救い**になります。また、わたしたちが**慰め**られるとき、それはあなたがたの**慰め**になり、あなたがたがわたしたちの**苦しみ**と同じ**苦しみ**に耐えることができるのです。あなたがたについてわたしたちが抱いている**希望**は揺るぎません。なぜなら、**あなたがたが苦しみを共にしてくれている**ように、**慰めをも共にしている**と、わたしたちは知っているからです。」

(6-7節)

2. Suffering leads to *spiritual maturity*.

“If we are *distressed*, it is for your *comfort and salvation*; if we are *comforted*, it is for your *comfort*, which produces in you patient endurance of the same *sufferings* we *suffer*.⁷ And our hope for you is firm, because we know that just as *you share in our sufferings, so also you share in our comfort.*” (v. 6-7)

3. 苦難は、神様に依り頼むように導く。

Suffering forces us to depend on God.

「...わたしたちは耐えられないほどひどく圧迫されて、生きる望みさえ失ってしまいました。わたしたちとしては死の宣告を受けた思っていました。それで、自分を頼りにすることなく、死者を復活させてくださる神を頼りにするようになりました。」（8-9節）

3. 苦難は、神様に依り頼むように導く。

Suffering forces us to depend on God.

“We were under great pressure, far beyond our ability to endure, so that we despaired of life itself. ⁹ Indeed, we felt we had received the sentence of death.

But this happened that we might not rely on ourselves but on God, who raises the dead.” (v. 8-9)

3. 苦難は、神様に依り頼むように導く。

Suffering forces us to depend on God.

「...わたしたちは耐えられないほどひどく圧迫されて、生きる望みさえ失ってしまいました。わたしたちとしては死の宣告を受けた思っていました。それで、自分を頼りにすることなく、死者を復活させてくださる神を頼りにするようになりました。」 (8-9節)

3. 苦難は、神様に依り頼むように導く。

「わたしたちとしては死の宣告を受けた思い
でした。それで、自分を頼りにすることなく、
死者を復活させてくださる神を頼りにするよう
になりました。神は、これほど大きな死の危
険からわたしたちを救ってくださったし、また
救ってくださることでしょう。これからも救ってくだ
さるにちがいないと、わたしたちは神に希望を
かけています。」（9-10節）

3. 苦難は、神様に依り頼むように導く。

「わたしたちとしては死の宣告を受けた思いでした。それで、自分を頼りにすることなく、死者を復活させてくださる神を頼りにするようになりました。神は、これほど大きな死の危険からわたしたちを救ってくださったし、また救ってくださることでしょう。これからも救ってくださるにちがいないと、わたしたちは神に希望をかけています。」（9-10節）

3. Suffering forces us to *depend on God.*

“Indeed, we felt we had received the sentence of death. ***But this happened that we might not rely on ourselves but on God, who raises the dead.*** ¹⁰ He has delivered us from such a deadly peril, and he will deliver us again. On him we have set our hope that he will continue to deliver us,”
(v.9-10)

3. Suffering forces us to *depend on God.*

“Indeed, we felt we had received the sentence of death. ***But this happened that we might not rely on ourselves but on God, who raises the dead.*** ¹⁰ He has delivered us from such a deadly peril, and he will deliver us again. On him we have set our hope that he will continue to deliver us,”
(v.9-10)

4. 苦難は、教会の祈りの生活を強くしてくれる。

「あなたがたも祈りで援助してください。そうすれば、多くの人のお陰でわたしたちに与えられた恵みについて、多くの人々がわたしたちのために感謝をささげてくれるようになるのです。」（11節）

4. Suffering strengthens *the Church's prayer life.*

“...he will continue to deliver us,
as you help us by your prayers.
Then many will give thanks on our
behalf for the gracious favor granted us
in answer to the prayers of many.”
(v.10b-11)